



2005 ~ 2006 年度
R I テーマ

SERVICE Above Self 超我の奉仕

超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール ヴィルヘルム ステンハマー (国籍・スウェーデン)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 鳴海淳郎	理事 吉富今男	役員 会長 平野英壽	S A A 河村貴雄
" 溝部 仁	" 薬真寺章三	副会長 上妻 浩	直前会長 森 宗明
" 村津忠久		幹事 木村きぬゑ	
" 梅津ヤヨイ		会計 岩尾昭治	

VOL . 18 - 25
2006 年 1 月 17 日

第 805 回 例会

会報委員長 大島由美子

点 鐘 12 : 30
体 操 自律神経強化体操
R S 別府中央R.C.の歌
唱 歌 雪の降る町を
B . G . M アコーディオンで綴る美しき愛唱歌」より
バラ色の人生
パリの屋根の下
雪が降る 他

出席報告

委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	0 名
席	欠 席 数	2 名
	出 席 率	76 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	84.62 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	0 名
12/20	修 正 出 席 率	92.31 %

連 続 - 回
通 算 - 回 100 %

・メイクアップ

事前 桜田 (別府) 小川、岩尾 (別府北
溝部 (地区国際奉仕委員会)
事後 岩尾 (別府東
欠席 大島、後藤 孝

会長の時間

会長 平野 英壽

今月は「ロータリー理解推進月間」です。

鳴海先生の「ロータリー探究」にも書かれていた
ましたが、会員にロータリーについて知識と理解
を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の
一般市民にもロータリーの事をよく知ってもらう
ためのプログラムを実施する月間です。

では、ロータリーを知るにはどのようにしたら
いいのでしょうか？

本日、配布しています「ロータリーの友」にコ
ツが記載されていました。

ロータリーの友 1 月号 P.9

あなたが新会員なら...やはりまずは例会に出席
することです。そして分からない事があれば先輩
会員に聞いてみる。当クラブは鳴海先生をは
じめ溝部先生、村津会員とロータリーを熟知され
ている先輩がいます。きっと親身になって教えて
くれるはずです。

あなたが入会后数年たった会員なら...クラブの
事ばかりでなく、地区のことも知りたいと思うは
ずです。年に 1 回開催される地区大会に参加する

ことで地区の状況また、他クラブの活動などを肌
で感じる事ができるはずですよ。

あなたが会長・幹事を務めているなら...会員の
皆さんにロータリーの情報を知らせる立場になり
ましたと書いています。この記事は、後日 1 人
でじっくり読ませて頂くことにします。

多くの情報を得て、それを皆さんに知らせる事
ができるよう、残り半期も頑張りたいと思います。



幹事報告

幹事 木村きぬ系

ロータリー理解推進月間

1. 本日の卓話

『私の皮膚科診療と、そのルーツ』

鳴海淳郎会員

2. 第7回定例理事・役員会報告

平成18年1月10日(火) 18:30~

於: 割烹旅館ゆめさき 10名

審議事項

- 1) 2005-2006年度後期納入金及び立替金徴収の件。(1月11日付) *承認
- 2) 2006-2007年度理事会: 理事3名及びS A A選出の件。 *下記会員を選出
 - 1 理事: 鳴海淳郎、溝部 仁、梅津ヤヨイ各会員
 - 2 S A A: 木村きぬ系会員

理事	森 宗明	
"	村津 忠久	
"	葉真寺章三	
"	後藤 隆	
"		} 1
"		
会長	上妻 浩	
副会長	森 宗明	* *
幹事	近藤 賢司	
会計	岩尾 昭治	
S A A		2
直前会長	平野 英壽	

*オブザーバー

上記、表の中の理事・役員につきましては12月の年次総会時に決定済み

- 3) 大久保清子会員 退会願いの件。
*承認(12月31日付)
- 4) 村津忠久会員「喜寿お祝い」の件。
(生年月日: 昭和4年2月10日) *承認
・別府中央RC慶弔規定: 第2章第2条(2)に伴い、会員全員で慶祝の意を表し、記念品を贈呈。(慶弔費より拠出)
- 5) 1月・2月例会予定の確認
* 2月21日・28日に変更あり
1月3日「法定休日」
10日「新年家族会」
於: 割烹旅館ゆめさき 18:30~
17日「会員卓話」鳴海 淳郎会員
24日「会員卓話」小川 雅代会員
31日「クラブフォーラム」

2月7日「会員卓話」上妻 浩会員

14日「会員卓話」大島由美子会員

21日「第3回クラブ協議会」

定款第5条第1節(C)に基づき休会

28日「会員卓話」木村きぬ系会員

「第3回クラブ協議会」

6) 定款休会の件。

実施日 平成18年2月21日(火)

- 3. 1月15日(日) 11:00~ 下毛郡三光村・金色温泉に於いて「地区国際奉仕委員会」が開催され、地区国際奉仕委員長の溝部 仁会員が出席致しました。

4. お祝い

会員誕生日 高宮 勝美会員(1月18日)

*記念品をお渡し致します。

結婚記念日 土谷 昌秀会員(1月22日)

*ご自宅にワインが届きます。

5. 例会変更のお知らせ

大分キャピタルRC 1月18日(第3水)の例会は、新年例会の為 同日18:30~大分東洋ホテルに変更

大分キャピタルRC 1月25日(水)の例会は、職場訪問例会の為 同日12:30~豊の国健康ランドに場所変更

佐伯MARINERC 1月27日(金)の例会は、大分トリニータ選手を迎えてのサイン会の為 1月29日(日)12:00~トキハインダストリー佐伯店に時間・場所変更

6. 次週の予定

「会員卓話」小川雅代会員

7. 本日の回覧

中津RC、中津中央RC、杵築RC、くにさきRC、竹田RC、佐伯RC週報

8. 本日の配布

ロータリーの友1月号

ガバナー月信12月号

週報804号

「ロータリー理解推進月間にあたって」

鳴海淳郎R情報委員長より

スマイルボックス

委員長 梅津ヤヨイ

平野会長

残り半年もよろしく。



上妻会員

この会場での例会は5週間ぶりですね。本年もこの会場をよろしくお願いします。

村津会員

一昨日・日曜日の別府アリーナでのプロバスケットボール、地元のヒート・デビルズが負けたのは残念無念ですが、私の「君が代」リードは好評でした。感謝してスマイル。

河村会員

新年会では皆さんにお会いしましたが、例会会場での出席は久しぶりなので週報がたまってしまいました。おわびしてスマイル。

葉真寺会員

トキハ別府店オープン以来の大改装、完成もあとわずか10日間となりました。期待して下さい。

吉富会員

鳴海先生の卓話、拝聴致します。

近藤会員

今年はとても寒い日が多くて南国九州の人間にとってはつらい日が続きますが、雪が多く降ってスキー場はとても賑わっています。九重ゲレンデも第5ゲレンデを増設しました。スキーは楽しいですよ。皆さん一緒にスキーに行きませんか。

亀井会員

新年家族会、大変楽しかったです。いつもいづも土谷会員様、おつかれ様です。ありがとうございました。

高宮会員

楽しい新年例会ありがとうございました。明日は62回目の私の誕生日です。

赤嶺会員

皆様改めて、明けましておめでとうございます。

今年も又一年頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。鳴海先生、今日の卓話頑張ってください。

梅津会員

昨夜、別府市民劇場がピーコンで行われ「劇団民芸」出演「仲代達矢」「奈良岡朋子」「長森雅人」の三人だけで一幕だけで25年もの流れの芝居で、大変楽しくおもしろく観賞する事が出来ました。新劇の名優二人の演技が見事でした。心のリフレッシュにスマイル。

委員会報告

親睦委員長 土谷 昌秀

日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会のお知らせ
第17回沖縄大会が下記の通り開催されます。詳細・参加希望者の方は事務局までお申し出下さい。

日 時：平成 18 年 3 月 13 日（月）

午前 8 時スタート

場 所：琉球ゴルフ倶楽部

参加締切日：2月7日（火）

会員卓話

鳴海 淳郎

わたしの皮膚科診療と、そのルーツ

皮膚科医として私が歩いてきた道

皮膚科医になって既に50年が過ぎましたが、2006年1月1日、わたしは丁度傘寿を迎えました。

九大卒業後東京通信病院にてインターン終了、そのまま同病院皮膚科に勤務することになり、当時新進気鋭な恩師小堀辰治先生のご指導を受けることになりました。

入局と同時に当時としては日本でいち早く副腎皮質ホルモン療法の研究に着手した共同研究者の一員となり、一方、アメリカで発展した新しい軟膏療法の手ほどきを受けました。そして、「副腎皮質ホルモンの円形脱毛症に対する治療効果、特にその奏効機序について」を主論文に審査をうけ、東京大学より学位を授与されたことは、わたしの生涯で忘れることのできない幸せなことの一つでした。

ついで群馬大学医学部助教授として赴任、山崎教授より記載皮膚科学の原点に触れたドイツ流の厳しいご指導を受けました。この北関東における研究生生活3年間の様々な体験と、前任地である東京通信病院での8年間のいわばアメリカ流の自由な研究体験がミックスされて、今日の自分があるということ、今更ながら感謝しています。

群馬大学を辞した後、東京新橋での5年間の開業生活は、全国理美容ネットワークにのった特殊な体験でしたが、父の度重なる脳梗塞の発作のために遂に故郷別府に帰って開業することになりました。

開業以来、地域医療の第一線で多くの患者さんに接し、皮膚に関する啓蒙と、幅広い皮膚科医療で地域社会に密着することを夢見てこれまでやってきましたが、この間、別府市医師会理事を3期6年、大分県医師会常任理事を3期6年、別府市医師会監事を2期4年務め、わたしとしてはまたとない経験を重ねることができました。

また、皮膚科開業医は如何にあるべきかということについて、学会シンポジウムその他で意見を述べてきましたが、とくに皮膚科の専門性を生かして包括医療をきめ細かく行ない、地域に密着することを大切にしてきました。

鳴海クリニックの診療方針とそのルーツ

当クリニックの診療方針は次に述べる通りですが、元来わたしは自分の性格から、世間では厳しい医者として通っています。なぜこのようになったのか、



そのルーツを探ってみますと、以下述べるようなことが考えられます。

鳴海クリニックの診療方針

1. 皮膚病を全身的に把握。常に皮膚と全身を考えながら診療に当る。
2. 注射、内服、外用剤の選定はきめ細かに、症状並びに治療経過に応じて選択。
3. 副作用チェックを忘れないこと。

幼年時代の追憶

人の話によると、わたしは母にとくに厳しく育てられたようですが、そのような厳しさよりも、幼年時代のわたしに英語でホーム・スイート・ホームを、フランス語でマルセイユを口伝えに教えてくれた母の優しさの方が記憶に残り、その後何10年も経つ現在においても、なお不完全ながら口ずさむことができます。

一方、父は小学生のわたしに昆虫採集の仕方を丁寧に教えてくれました。また、この頃たまたま父が学生時代に書いた顕微鏡のスケッチ画を見る機会があり、妙に感動したことを思い出します。このように、自然科学への憧憬は父より、感性の育みは母より受け継がれていることを今更のように思い出します。

高等学校時代の追憶

第五高等学校時代の後半、終戦後の1、2年間にあたりますが、わたしは動物学の先生のご指導で、余暇を利用して約70匹の「みみず」の解剖をしたことがあります。生殖器や盲嚢の形態を詳細にしらべ、比較解剖学の片鱗に触れて、妙に気を引かれたことを思い出します。

大学に進学して

その後九州大学医学部へ進みましたが、一年の夏休み、解剖学教授のご指導で肩甲骨の計測をしました。教授のご意向で84体の計測の結果を小論文(英文)にまとめましたが、戦後の混乱に紛れて未発表に終わってしまいました。

しかし、骨の形が筋肉や関節の運動といかに関係が深いかを如実に知らされたものでした。

なぜ皮膚科医になったか

皮膚科医として既に50年は過ぎましたが、わたしがどうして皮膚科を選んだのか考えてみますと、以上述べてきましたように、父から教わった昆虫採集をきっかけに、高等学校時代には「みみず」の解剖をしたり、大学一年の放課後には肩甲骨の計測をしたりして、自然にものを見る訓練をさせられてきました。

また、わたしは一時、精神科を選ぼうと考えたこともありましたが、なぜ母校に入局しないで東京に出てきたか、その一つに経済的な原因もありましたので、

東京通信病院でインターンをするようになって色々考えた末、当時の中島病院事務長が大分県佐伯出身であったこともあり、事務長の紹介もあって皮膚科部長、小堀辰治先生の教えを受けることになりました。

そして、入局以来病室の医局で机をならべ、四六時中わたしを細かく指導して下さったオーベンの平出先生は、入院患者さんを極めて丁寧にみられる方で、早朝から色々一緒に検査をしたり、病歴を細かく書くことを教えられたり、患者さんが亡くなると、病理の先生と一緒に解剖に立ち会われるなど、皮膚科医として本当に全身をよく診られる先生に私は感化されました。

Was ist das Schwerste von Allem?

Was dir das Leichteste duenket,

Mit den Augen zu sehen,

Was vor den Augen dir liegt.

これは数あるゲーテの詩の一つですが、私はこの詩が好きです。(すべてのものの中で最も難しいものはなにか、それは、あなたの前にあるものを見るという、最もたやすいと思われることであるという意味)この詩をはじめて知ったのは、丁度インターンの頃でしたから、あるいはこれが皮膚科医を志すきっかけになったかも知れません。

また、わたしは特に皮膚と「こころ」の問題を考えていますが、前述のように一時精神科を志望したことと関係があるように思えてなりません。皮膚と神経とは発生学的にも外胚葉という同一のオリジンであることから、切ってもきれない関係にあることを今更のように思う次第です。

この1年を振り返ってみても、昨年4月にはJR宝塚線の脱線事故、11月に発覚した耐震強度偽装事件など、社会での役割に誇りを持つ職業人としての倫理を磨くことの大切さが全く忘れられていますし、すべての面において厳しさが失われています。

商店街の入口に掲げられた“自転車を乗り入れないで下さい”という簡単な交通道徳でさえも今や完全に無視され、乗り入れることが当たり前のようになっている時代です。

些細なことですが、このようなことの積み重ねで世の中がすすんでいるのが現状です。

これらは、もとを正せば子どもの時のしつけ、教育に原因があるわけですし、子どもの時に受けた強烈な印象や感動が、その後の人生を左右することにもなり、「三つ子の魂百までも」ということわざの大切さを今更のように痛感する昨今です。

会員コラム

平野 英壽

私の好きな本より抜粋

本田宗一郎氏著「人生哲学「得手に帆あげて」より

- ・人は、ともしれば経験を評価のスケールにしたがるが、経験そのものより、そこからどんな知識を学びとったかが重要だ。
- ・親の過保護は、子供が大きくなり伸びようとしているのを、押さえ込んでしまう。大地に根を張る立派な木のように育てることが、人間の教育である。
- ・今の日本においては、「知る知識」から「試す教育」へと軌道修正を図ることが必要だ。
- ・スピードの時代の今日、「能ある鷹は爪を隠す」のではなく、自分の手腕を外に示し、自己主張をすることが大切である。

- ・人世は「得手に帆をあげて」生きるのが最上だ。
- ・見えないものが見える「観察の目」は、努力して失敗と反省を重ねることによってのみ開眼する。
- ・多くの納得を得るには、自分の考えだけでなく、「真理」を土台に物事を考えることである。
- ・失敗を恐れず、まず一步を踏み出すことが、成功につながる。
- ・「笑い」は万国に通じるパスポートである。日本人は、この笑いをもっと大切に考えなければいけない。
- ・現代の日本人は、平和を浪費している。平和を維持するには、そのための努力や支出が必要であるということ認識している人が少なくなっている。

今回は、木村きぬ系会員です。